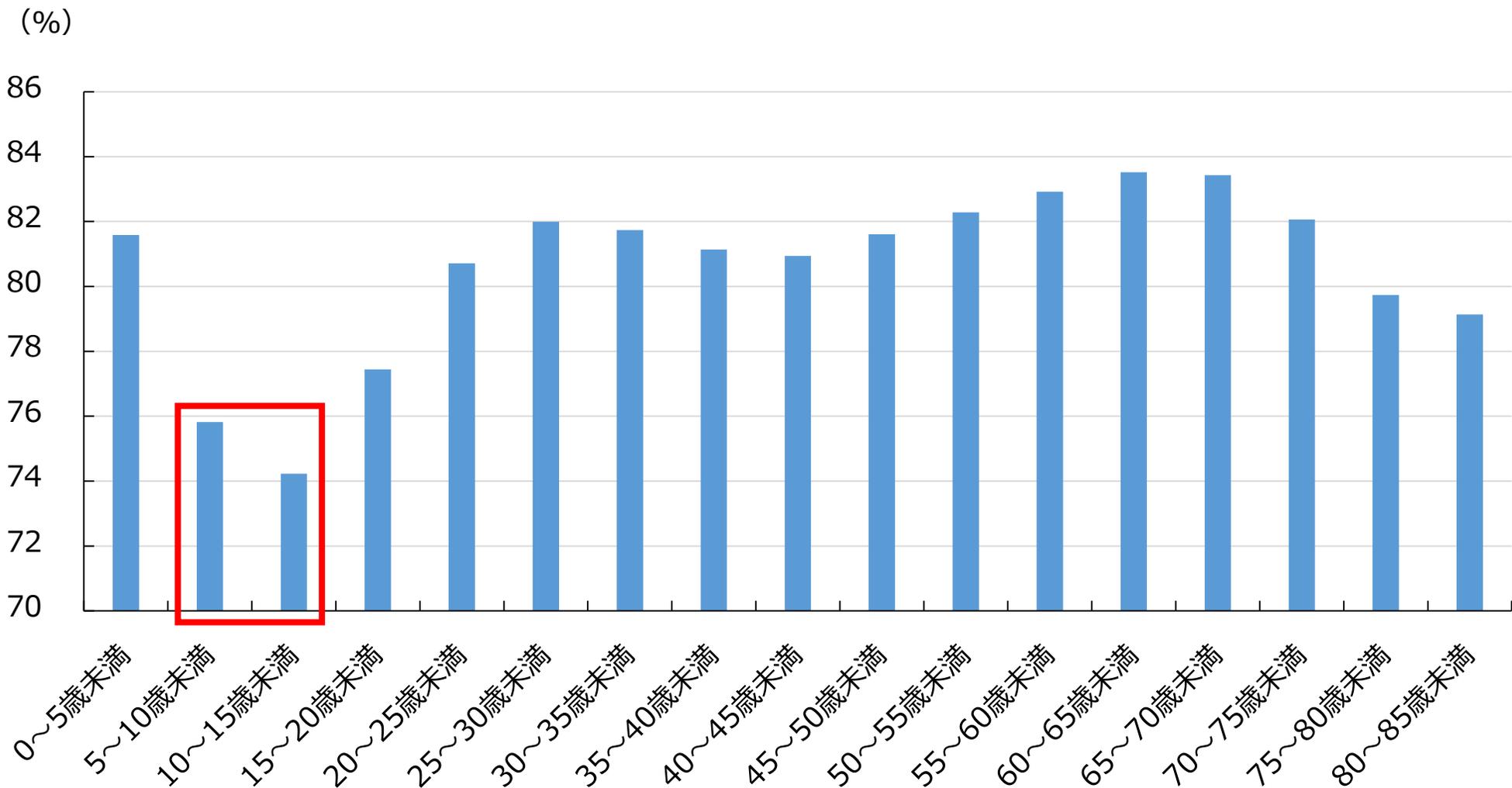


子ども及びその保護者への啓発事業について

2021年 8月 薬務課監視係

15歳未満患者におけるジェネリック医薬品使用割合について

○15歳未満患者におけるジェネリック医薬品使用割合は、他の年齢層と比較して、全国的に低い値を示している。



※出典：厚生労働省「最近の調剤医療費（電算処理分）の動向（令和2年4月～令和3年1月）」

15歳未満患者への啓発資材配布(案)

- 子どもの世代で普及率が低いことが指摘されていることから、普及率の底上げを行うべく、令和2年度においては北九州市・福岡市の15歳未満を対象として、資材送付による啓発を実施した。
- 令和3年度は県全域を対象を広げることとする。

【啓発の概要】

G E使用を促進する啓発用パンフレット及び保険証や「子ども医療証」※に貼付可能なG E希望シールを作成し、以下の対象に配布する。

※ 子ども医療費支給制度を利用する際に医療機関等で提示するもの。

○対象

下記のいずれにも当てはまる者のいる国保被保険者世帯

- ・ 県内の15歳未満
- ・ G E使用による差額が100円以上
(ただし、昨年送付した世帯に対しては送付しない。)

(参考：予測対象世帯数)

北九州市及び福岡市の人口と、2市を除いた県内58市町村の人口がおよそ同じであり、年齢階級別人口の地域格差も少ないため、昨年送付した世帯に対しては送付しないこととすると、昨年送付した世帯数とおよそ同じになるものと思われる。

※ 昨年の配布数 → 北九州市：336人、福岡市：772人

15歳未満患者への啓発資材

○送付する啓発資材は、令和2年度に作成した資材を使用する。

啓発用パンフレット

GEの安全性に関することや、GE選択が社会に貢献できることが記載されたA4サイズ三つ折りのもの

<表面>



<裏面>



GE希望シール

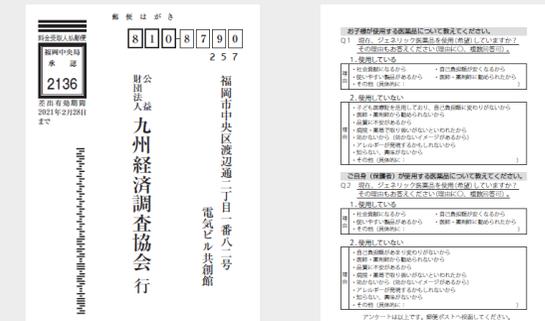
名刺サイズの台紙に保険証や「子ども医療証」に貼付可能な大きさのシール

<2種類のデザインを送付>



アンケート用紙※今年度は実施しない

令和2年度は、啓発資材とともにアンケート用紙を送付した。



15歳未満患者への啓発資材配布(予定)

～8月 各市町村へ、データ提供の承諾依頼



9月頃 国民健康保険団体連合会へ、データ抽出依頼



10月頃 各市町村にて、データ確認 → 送付先確定



11月頃 パンフレット発送